

3/6

■新卒3年目からのプレゼンテーション研修

新卒3年目からの社員のプレゼン資料の作成のスピードと質をアップできるか？

YES! 結論は、新卒3年目からの「1パターン」で最速で通る資料が作れるようになる！研修を実施。
鍵を握るのは「サポートの壁」。同時に、共通のフレームと上司のフィードバックの底上げをする。

■1) 資料のクオリティの問題

- ✓ 資料の全体感がない → 「型」がない
- ✓ プレゼン資料に「リアリティ」がない
- ✓ わかりにくい。特に「最初の3枚」
- ✓ 現実感の欠如。数値や事実の裏づけがない
- ✓ 「これならいける！」という実感がなくアクトアウト
- ✓ 「相手の欲しい情報」がない

■2) 資料作成の効率の問題

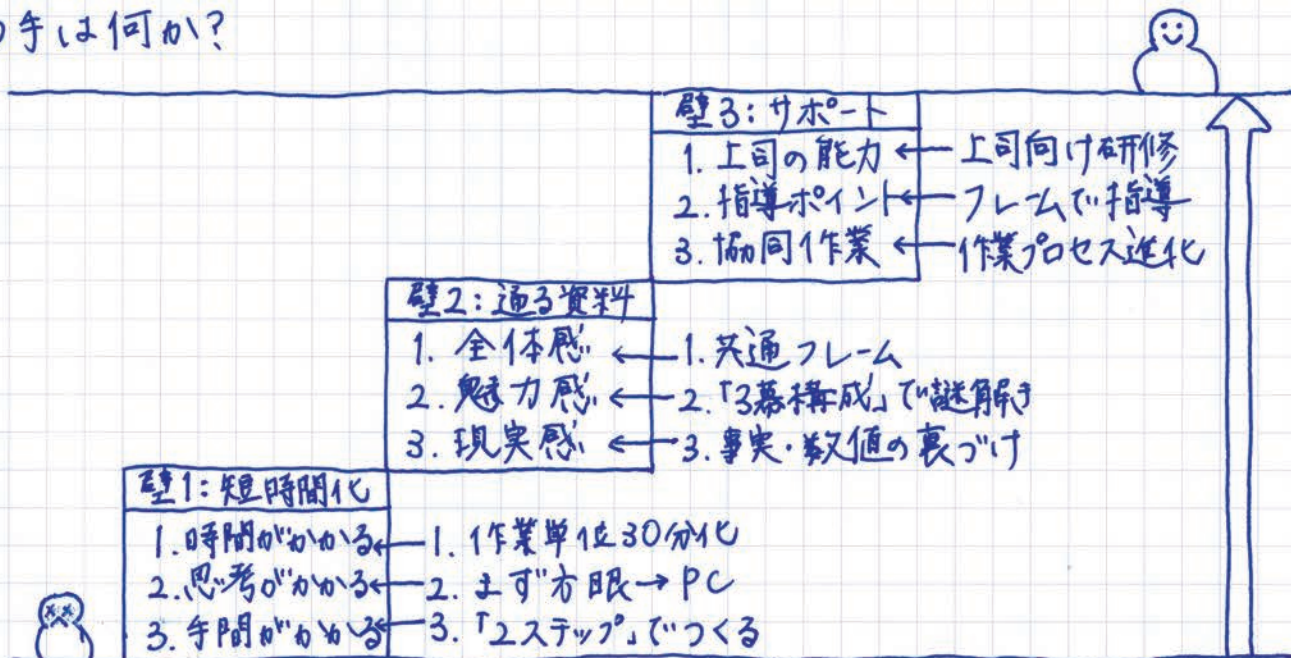
- ✓ 時間がかかる。やり直しが多い → パワポ素人
- ✓ いまだにPC → パワポ作業の標準化・要
- ✓ 18時から作業 → なぜそれ以前にできない？
- ✓ PCに向かってフリーズ → 事前の問題
- ✓ ムダな資料を詰め込んでいる
- ✓ 最終形の写真がなく「とりあえず」作業

■3) その他

- ✓ 上司によりサポートの程度がバラバラ
- ✓ 上司のフィードバック力が低い
- ✓ 外部による機能していないプレゼン研修
- ✓ 「マインド」の問題 = 場数がない自信がない
- ✓ プレゼン資料というより「カタログ説明書」

▶ 何が壁か？

打つ手は何か？



- ・現状: 新卒3年目社員のプレゼン力が低いのが問題である
- ・変化: 新サービスの投入により受注機会が一気に拡大する
- ・問い: 新卒3年目社員のプレゼン力を短期間でアップできるか？

Next Steps

- ① 標準フレームの設計: 過去のプレゼン資料の分析 → ポイント抽出
- ② 「2ステップ」のオンライン受講を開始する
- ③ 現状の作業プロセスの「見える化」 → 理想のプロセスを設計